

本 会 記 事

1. 昭和63年度総会並びに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の昭和63年度総会ならびに研究発表会は、約170人の参加のもと、11月14、15日の両日、徳島市眉山会館で開催された。

1) 総 会

14日午後1時から開かれ、昭和62年度会務報告が承認された後、昭和62年度の事業計画及び予算案が上程、承認された。なお、昭和63年度の新役員は下記のように決定された。〔会長〕浅賀宏一〔副会長〕楠瀬博彦、葭原敏夫〔評議員〕玉井克郎、谷本温暉、都崎芳久、斉藤啓造、山本弘幸、上森 実、松岡隆宏、橋 泰宣、倉田宗良、高井幹夫、井上 斉、稲葉忠興、八洲化学工業株式会社、日本化薬株式会社、住化アグロ株式会社〔会計監査〕梅原久稔、日本特殊農薬製造株式会社〔庶務幹事〕稲葉忠興、妹尾芳江〔会計幹事〕岩崎真人〔編集委員〕井上 斉、谷 利一、倉田宗良、平野千里、高井幹夫、岡本秀俊、稲葉忠興、岩崎真人

2) 研究発表

14日午後1時50分から15日12時まで、以下の12題の講演が行われた。

1. 上田 進(愛媛農試)
イネいもち病、もみ枯細菌病などの発生と気象との関係
2. 十河和博・都崎芳久(香川農試)
ニンニク春腐病の発生と防除
3. 後藤孝雄・稲葉忠興(四国農試)
水田化によるタマネギ腐敗病の防除
4. 宮下武則(香川県病害虫防除所)
シミュレーションモデルによるトビイロウンカの発生及び防除時期の予測
5. 西山芳邦(香川農試)
トビイロウンカ防除における各種薬剤と防除時期の関係
6. 萩原洋晶・窪田聖一・森 介計(愛媛果試)
合成ピレスロイド剤の散布がミカンハダニの増殖に及ぼす影響について
7. 高井幹夫(高知農林技研)
シロイチモジヨトウの薬剤に対する感受性
8. 村井啓三郎・安富範雄・梅津憲治(大塚化学鳴門研究所)
オリオン[®](OK-135)粒剤の効果について
9. 金磯泰雄・原田真治(徳島県協町病害虫防除所)
エンドウべと病の発生と薬剤防除
10. 三好孝典(愛媛果試)・本田道明(愛媛温泉青果農協)・橋 泰宣・高橋啓治(愛媛果試)
キウイフルーツ花腐細菌病の発生と開花時期、着花位置との関係
11. 飯野尚之(高知県南国病害虫防除所)・栃原比呂志(九州農試)・花田 薫(農研センター)
土壌からのタバコモザイクウイルス(TMV)の検出について
12. 岩崎真人・稲葉忠興(四国農試)
ウイルスの混合感染による接ぎ木キュウリの萎凋発生とウリ類台木の種類との関係

3) 特別講演

14日4時から5時30分まで、徳島文理大学 石井 博氏による「青果物の貯蔵と微生物相」、香川県病害虫防除所 葛西辰雄氏による「水稻害虫における薬剤抵抗性の発達過程について」の講演が行われた。

4) 協 議

15日9時から10時まで,昭和63年度の病害虫発生の特徴とその対策並びに防除上の問題点につき,各県防疫係の各氏より報告が行われた。

2. 次年度大会

昭和64年度(平成元年度)総会及び研究発表会は高知県が担当し,昭和64年(平成元年)11月中旬に高知市において開催されることが決められた。